



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2011.8

No. 328

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



平成 23 年度(第 27 回)総会を開催しました

平成 23 年 6 月 26 日(日)午後 1 時 30 分から、さいたま市民会館うらわで、総会を開催しました。

●記念講演

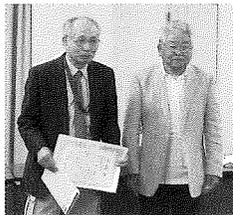


浅見徹の司会で定刻に開始。今年の記念講演は公益財団代表者理事長副会長：佐藤仁志氏(左写真)の「探鳥会におけるリスクマネジメント」。スズメバチ・ツタウルシ・雷雨などの危険とボランティアの責任などについて、幅広い講演でした。



●表彰式など

藤掛保司代表の開会の挨拶で総会が始まり、平成 22 年県内鳥見ランキングの探鳥会参加回数、部・観察鳥種数の部、両方で第 1 位となった船木数樹氏に表彰状と副賞が渡されました。



小林みどりが議長に、持丸順彰が書記、入山博・山部直喜が議事録署名人に選出されて、議事に入りました。

●平成 22 年度事業報告・収支決算

海老原美夫事務局長が、当会は年度途中の昨年 11 月 1 日に名称を変更したが、規約附則第 23 条第 3 項により、平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで一体の事業会計年

度であることを説明した後、平成 22 年度事業について報告しました。主な内容は次の通り。

【総務・事務局関係】

残念ながら 22 年度も会員数が減少した。11 月 1 日付けで名称を変更し、関係者、金融機関などへ通知・名義変更した。腕章・集合旗を新たに作成した。平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、翌 12 日から年度内の探鳥会・自然観察会をすべて中止した。野鳥の会義援金に対し 10 万円拠出した。

【保護活動関係】

カワウ問題協議会・見沼田んぼネットワークなどに参加した。神流川サイホン更生工事予定に対し、自然環境に配慮することを要望する意見書を、群馬県西部農業事務所に提出した。環境大臣あて、愛玩飼養制度廃止の要望書を提出した。

【普及活動関係】

普及部(部長：橋口長和)が担当した探鳥会は、計画 121 回、雨天と震災による中止 15 回、実施 106 回＝1 ヶ月平均 8.8 回、合計参加者数 3,542 人＝1 回平均 33.4 人に及んだ。

平成 23 年 2 月 20 日(日)さいたま市三室地区定例探鳥会は通算 300 回目を迎え、記念缶バッジを作成して無料配布した。

普及部以外の活動として、学校関係など 13 件の普及活動をした。

【調査研究関係】

研究部(部長：小荷田行男)は、タカの渡り、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類調査を継続した。関東ブロック支部など協力のシラコバト調査結果を『Strix vol. 27』原稿としてまとめた。

記録委員会(委員長：小林みどり)は、7 件の情報を発表した。

【編集活動関係】

編集部(部長：山部直喜)は、『しらこぼと』を年 12 回、合計 23,100 部発行した。

【事業活動関係】

事業部は年度中に部長が福井恒人から大坂幸男に交代した。

平成22年度収支決算は右表の通りです。石川敏男・楠見邦博両監事が監査結果を報告しました。

平成22年度事業報告と収支決算は、拍手で承認されました。

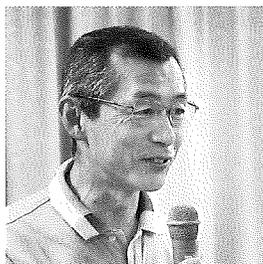
沼一充(白岡町) 福井恒人(さいたま市) 持丸順彰(志木市) 森本國夫(熊谷市) 山口芳邦(新座市) 山部直喜(三郷市) 吉原俊雄(北本市)

[監事] 石川敏男(春日部市) 楠見邦博(さいたま市)

●平成23年度事業計画・収支予算

平成23年度事業計画案と平成23年度予算案は、通常の事業を継続することを基本としたものであることが説明され、それぞれ拍手で承認されました。

●平成23年度役員



前年度役員のうち大澤祐、後藤康夫、田中幸男の3名がそれぞれ仕事の都合などで退任しました。そのほかの40名を再任、森本國夫(左写真)

を新任として推薦する案が承認されました。森本は、かつて平成13年度まで役員でした。久しぶりの復帰です。総会議事終了後平成23年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、前年度と同じ代表・副代表・監事が選出されました。

[代表] 藤掛保司(川越市)

[副代表] 海老原美夫(さいたま市)

[幹事] 青木正俊(さいたま市) 浅見徹(さいたま市) 新井巖(深谷市) 石井智(鴻巣市) 石光章(所沢市) 伊藤芳晴(川口市) 井上幹男(長瀨町) 入山博(春日部市) 内田孝男(古河市) 榎本秀和(鴻巣市) 大坂幸男(上尾市) 倉林宗太郎(さいたま市) 小池一男(寄居町) 小荷田行男(さいたま市) 小林みどり(さいたま市) 佐久間博文(川越市) 杉本秀樹(習志野市) 須崎聡(川口市) 田邊八州雄(越谷市) 玉井正晴(蓮田市) 千島康幸(小川町) 手塚正義(川口市) 内藤義雄(鴻巣市) 中里裕一(加須市) 長嶋宏之(蓮田市) 中島康夫(蓮田市) 長野誠治(さいたま市) 中村豊己(東松山市) 橋口長和(春日部市) 長谷部謙二(川越市) 菱

平成22年度決算・23年度予算

収入の部

	項目	22年度決算	23年度予算
一般会計	期首繰越金	2,997,857	2,202,941
	会費	2,853,936	3,000,000
	寄付金	5,827	10,000
	探鳥会参加費	278,362	300,000
	雑収入	14,206	10,000
	仮払金清算	46,112	0
	補助金	200,000	200,000
	一般会計合計	6,396,300	5,722,941
事業部会計	期首繰越金	2,164,625	2,264,608
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部売上金	579,187	700,000
	事業部雑収入	15,369	10,000
	事業部会計合計	7,759,181	7,974,608
総合計		14,155,481	13,697,549

支出の部

	項目	22年度決算	23年度予算
一般会計	什器備品費	207,670	100,000
	消耗品費	4,987	20,000
	会報印刷費	1,237,950	1,300,000
	会報発送料	845,930	900,000
	印刷コピー代	148,700	300,000
	通信費	106,526	150,000
	雑費	127,779	140,000
	家賃	984,000	984,000
	水道光熱費	52,591	60,000
	総務部費用	105,956	140,000
	普及部費用	155,783	220,000
	編集部費用	24,000	30,000
	研究部費用	1,270	10,000
	予備費	100,000	300,000
仮払金	90,217	0	
期末繰越金	2,202,941	1,068,941	
	一般会計合計	6,396,300	5,722,941
事業部会計	事業部仕入れ金	492,183	600,000
	雑費	2,390	5,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	期末繰越金	2,264,608	2,369,608
	事業部会計合計	7,759,181	7,974,608
総合計		14,155,481	13,697,549

(註)一般会計予備費22年度支出100,000円は野鳥の会義援金

「がんばろうふくしま in にしごう」に参加

吉原俊雄(北本市)

2011年6月12日(日)福島県白河市近郊の西郷(にしごう)村で開催された「がんばろうふくしま in にしごう」に参加して来ました。このイベントは、西郷村の風評被害対策事業実行委員会(村、商工会、農協、教育委員会、観光協会など)の主催で開催されたもので、主催者から日本野鳥の会本部に参加の依頼があり、開催までに時間がない中、柳生会長の強い意思により参加を決めると共に、福島県内と関東地方の支部にも参加を呼びかけたものです。

埼玉も参加を決めました。藤掛代表も海老原副代表も所用があつて参加出来ないため、2年半前に郡山市から埼玉に戻ったばかりの私たちに声を掛けてくださったようです。戻ってから一度も行っていないこともあり、即参加を決めました。

会場は、ゴルフ場(グランドエクスプロ那須白河)です。ホテルの建物に一部被害があり震災後休業していて、修理が済んだホテルが6月に入って再開したばかり。ゴルフ場は7月には再開の予定とのこと。地元の会社やグループによる物品販売や飲食物販売のコーナーは50ブース出店していました。

イベントはホテルの前の綺麗な緑の芝生の上で開催されました。野鳥の会は11時の開会式よりも前から参加し、柳生会長も開会式から舞台上がり、挨拶しました。開会式での主催者の挨拶では、福島県全体に風評被害が発生しており、農業や観光の被害が甚大であるとのこと。

その後も柳生会長は、地元の食材を使用したクッキング教室で試食に参加。野鳥の会は2時~3時に舞台のイベントとは別に一般参加者40~50名と一緒に探鳥会を実施しました。ホテルの建物の周囲でムクドリが餌や巣材を運ぶ姿、スズメの巣立ち雛、雛のいるツバメの巣、屋根にいるハクセキレイなどを望遠鏡に入れて子供たちや大人の方に見てもらいましたが、結構感動してもらえました。

野鳥の会の参加者は、間違いがあるかもし



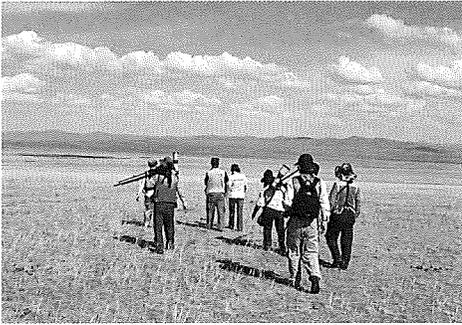
れませんが、埼玉から4名、本部6名、白河8名、福島18名、郡山4名、会津4名、いわき1名、南相馬1名、栃木8名、東京1名、奥多摩3名、神奈川3名など約60名でした。イベント全体としては、午後7時30分まで開催され、参加者は3,200名でした。

3時の探鳥会が終わった後、野鳥の会の参加者は会場を後にして、甲子高原にある三菱製紙エコシステムアカデミーを見学(写真はその時の記念撮影です)し、野鳥の会白河の定例探鳥地「キビタキの森」で探鳥した後、すぐ目の前の民宿「はなのや」で懇親会になりました。

懇親会での柳生会長の話。「今回の大震災に対して野鳥の会としては、被災者、被災地の為になる事であれば、色々な事に積極的に参加し協力して行きたい。今回のイベント参加は時間のない中で決めたが、本部からの呼びかけに対し各支部から多数の参加を得て、感激している。今回のイベント参加をスタート台にして、今後も各地のイベントに積極的に参加して行きたい。風評被害に打ち勝つには、現地に行って、現地食べる。関東からの参加者には、福島県内での探鳥会を行うなどして、福島県に一人でも多く来ることを願っている」

我々野鳥の会埼玉が、三宅島の探鳥会再開後、三宅島の復興のためにも継続して実施して行こうと考えているように、福島などの東北での探鳥会を検討することも今後の課題としては、有意義なことと思います。

モンゴルに行って来ました 長嶋宏之(蓮田市)

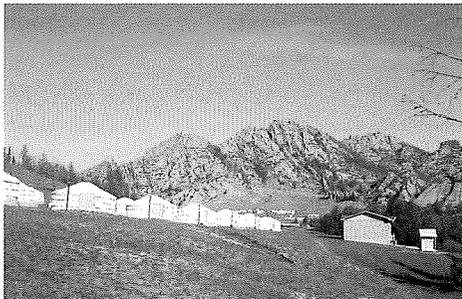


現地3泊。内1泊はウランバートル市内のホテル、他の2泊はゲルでした。見渡す限りの草原と牛と羊と馬。良く見る景色を楽しむことができました。食事は美味かったし、水も手に入りやすかったし、トイレも清潔で快適でした。ただ、空気が乾燥していて、唇や鼻の粘膜がひりひりしました。

ウランバートル近郊の池ではオオハクチョウが雛を育てていました。アネハヅルも抱卵しているようでした。アカツクシガモ、キンクロハジロ、オカヨシガモ、ホシハジロ、マガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、コチドリ、カワアイサ、カンムリカイツブリなどがいたのには驚きでした。タゲリ、アジサシ、クロハラアジサシ、ハジロクロハラアジサシなども飛んでいました。

ホスタイ国立公園には、大好きな猛禽が沢山いて大満足でした。イヌワシ、ソウゲンワシ、クロハゲワシ、オオノスリ、アカアシチヨウゲンボウ、チヨウセンチヨウゲンボウ、セーカーハヤブサなどです。さすが大形猛禽のタカ柱は迫力があますね。

テレルジ国立公園では小鳥達を楽しみました。シラガホオジロ、キガシラセキレイ、シロビタイジョウビタキ、コアカゲラ、アカ

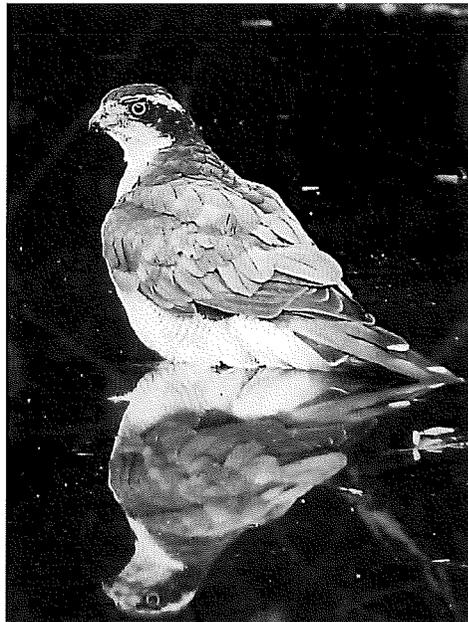


ゲラ、オオアカゲラ、ルリガラ、ハシグロヒタキ、ベニハシガラスなど。中でもカッコウやジョウビタキの夏羽を見た時は何故か懐かしかったです。

などなどで今回の観察種は67種でした。オジロビタキは「この辺りにはいない」と聞いていたのですが、やはり見つかりませんでした。胸まで赤いオジロビタキを見たかったのですが、残念でした。一度は絶滅しかけた野生馬のタヒも見られました。思いのほかフランスの良い綺麗な馬でした。野兎やマーモットも穴から時々顔を出し愛嬌を振りまいていました。

オオタカの涼

鶴飼喜雄(深谷市)



猛暑の昨年夏、公園木陰の水場で、オオタカが涼をとっていました。



野鳥情報

春日部市武里中野 ◇4月1日午後4時45分頃、自宅北東に広がる田んぼで♂成鳥と思われるオオタカ1羽が旋回し、下降上昇を2度繰り返して、大增新田方向へ飛び去った(石川敏男)。

さいたま市見沼区染谷 ◇4月4日、オオタカ若鳥と思われる2羽、森から飛び立ち、からみあいながら東へ。ツバメ2羽、「思い出の里」入口付近を飛ぶ(小林みどり)。

さいたま市見沼区加田屋 ◇4月4日、加田屋川にコチドリ6羽+(小林みどり)。

さいたま市緑区見沼自然公園 ◇4月4日、バン2羽、縦に並び、首を前方に伸ばし、姿勢を低くして泳ぎながら、「コ・コ・コ・コ」とニワトリのように鳴く。後方の1羽が突然、もう1羽を攻撃、対岸まで追いやる。その額板は、いつもより鮮やか。これも婚姻色?他にアオサギ幼鳥1羽、オオバン5羽、ヒドリガモ10羽+。オナガガモはいなかった。マヒワ20羽土、まだいる(小林みどり)。

さいたま市岩槻区南平野 ◇4月4日、草地でオオジュリン多数、コジュリン1羽、ホオアカ2羽、カンラダカ3羽など(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区新方須賀 ◇4月4日、電線でコチョウゲンボウ1羽、若鳥か♀か識別できなかった(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区大門 ◇4月4日、遊水池でコガモ♂1羽、オナガガモ♂1羽、ヒドリガモ20羽、ハシビロガモ10羽、カルガモ、オオバン1羽。ツバメ2羽、今季初認(鈴木紀雄)。

さいたま市緑区上野田 ◇4月4日、道脇の小さな流れでタシギ5羽、コチドリ3羽、上空をツバメ1羽。4月9日、同所でクサシギ1羽(鈴木紀雄)。

春日部市谷原新田 ◇4月5日午後、谷原親水広場にて、コチドリ1羽が飛びたつのを目撃。今春の初認(石川敏男)。

さいたま市見沼区芝川 ◇4月5日、石橋～鷺山橋間でゴイサギ若鳥1羽、オカヨシガモ♂1羽♀1羽、クイナ1羽、バン5羽、タシギ1羽、オオジュリン4羽。4月15日、バン2羽、向かい合って、お互いに翼で“張り手”(小林みどり)。

さいたま市見沼区猿花キャンプ場 ◇4月5日、オオタカ成鳥1羽、ツミ♂1羽。4月13日、アカゲラ1羽。シロハラ3羽+、「ヒョロロン、ヒョロロン、ツリリリ…」とアカハラに似たメロディーを歌うが、アカハラに比べると声に張りがなく、元気がない感じ。カケス5羽+、アオゲラの「ピャア」やオオタカの「キッキキッキ」、イカルの「キキコーキー」など、いろいろな声で鳴き合う。4月15日、シロハラ5羽+、地上で採食。冬の間は1羽でいたのに最近複数で行動している。渡りの途中かもしれない。4月23日、ツグミ1羽(終認)(小林みどり)。

さいたま市見沼区蓮沼～大和田町 ◇4月6日、自宅から東武野田線大和田駅へ行く間にアオサギ1羽(上空通過)、シロハラ1羽、さえずっているホオジロ2羽、さえずっているアオジ1羽など全部で14種を確認(小林みどり)。

さいたま市見沼区染谷 ◇4月7日、コゲラ1羽、植木の支柱になっている竹竿をつつく。空洞なので大きな音がする。同じ個体かどうかは判らないが4月14日には、この竹竿でドラミング(小林みどり)。

羽生市羽生水郷公園 ◇4月7日、バンの幼鳥が2羽、岸辺の細い柳の枝にしがみついて若芽を食べていた。けたたましい声の方を見ると、3羽のカイツブリがオオバンの成鳥に追い回されていた。何か気に障る事があったのだろうか。5羽のダイサギの群れに、1羽だけ繁殖羽の個体があった。ヨシガモ♂3羽♀4羽、コガモ30羽土。岸辺のアシにオオジュリンが5～6羽、中にひと

際白い個体が1羽。シベリアジュリンかも。ヒバリがさえずりながら舞う中、ツグミ20羽+が芝生で採餌（長嶋宏之）。

さいたま市浦和区三崎 ◇4月9日、カラスにモビングされるオオタカ成鳥1羽、大きめにみえたので♀か？（鈴木紀雄）。

深谷市本田白鳥飛来地 ◇4月10日、トウネン1羽、オジロトウネン2羽。ミコアイサ♀、4羽に増えた。4月17日、ヒレンジャク約10羽、トウネン1羽、オジロトウネン6羽。4月22日、マヒワ♂1羽♀1羽、タシギ1羽、オジロトウネン4羽。キンクロハジロ群れ中の♀1羽、顔全体が白い斑模様。駐車場付近の林でヤマシギ1羽（鈴木敬）。

蓮田市西城沼公園 ◇4月11日、キリの木にシメが30羽+群れていた。メジロ10羽+がケヤキの新芽を採餌。ヒヨドリ70羽の群れが北東に向かった。小形のタカがハイタカにアタック。ツミ♂のようだ。4月18日、ツミ成鳥♂が通称一本杉にとまった。ヒヨドリ位の大きさだが、ずっと大きく見える。赤い目と胸腹のオレンジの太い横縞が印象的だ。4月20日、1時間の間にヒヨドリ50羽+の群れが3群と30羽+の群れが1群、北東に向かった。頻繁に小形のタカが上空を旋回する。識別表とカメラをもって識別を楽しむ。オオタカ♀若鳥、ハイタカ♀、ツミ♀のようだ（長嶋宏之）。

加須市渡良瀬遊水地 ◇4月13日、サシバ1羽、今季初認。ノビタキ♂1羽、今季初認（長嶋宏之）。

さいたま市見沼区膝子 ◇4月13日、車の運転中、上空をフワフワと横切るカケス1羽。翌日も目撃（鈴木紀雄）。

坂戸市浅羽ビオトープ ◇4月13日、遊歩道わきの高木のクヌギにマヒワ約30羽。さかんに花序をついばんでいた。しばらくして水路ぎわの低木に移り、すぐ近くで観察できた（増尾隆）。

坂戸市西坂戸2丁目公園 ◇4月14日午前10時56分、自宅裏の公園を窓から見ると、数羽いるツグミに一羽明るい褐色の鳥。双

眼鏡で見ると「ハチジョウツグミ」と思った瞬間ツグミに追われて飛び去る。「アカハラ？」の疑問も残る。4月24日午前5時45分、いつものように窓から公園を双眼鏡で見る。地面に亜種ハチジョウツグミ1羽。見ていると窓の真ん前の公園フェンスに上がってとまり、じっくり、パッチリ観察・確認できた。午前6時35分、シロハラ2羽。追いかけてっこしていた。午後2時、アカハラ1羽（増尾隆）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇4月14日、公園近くの水路でホオアカ1羽。4月20日、ピクニックの森でクロジ♂3羽（海老原美夫）。

鴻巣市大間1丁目 ◇4月16日午前9時半頃、聞きなれない鳴き声をするな、と屋根を見上げると、スズメのカップルが交尾中。そういう季節なんだね（榎本秀和）。

白岡町白岡駅前 ◇4月17日、ツバメ5羽、今季初認。16日にはいなかった（長嶋宏之）。

さいたま市見沼区大谷 ◇4月18日、コジュケイ1羽、民家の生垣に沿ってゆっくりと歩きながら何かを啄む。蹴爪があったので♂（小林みどり）。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇4月22日、As区でノビタキ♂夏羽1羽（海老原美夫）。

白岡市岡泉 ◇4月24日、水の入り始めた水田でムナグロ15羽（鈴木紀雄）。

志木市宗岡 ◇4月25日、ムナグロ100羽+。その中に夏羽に変わりはじめたエリマキシギ♂1羽（海老原美夫）。

さいたま市岩槻区岩槻城址公園 ◇4月24日、カイツブリ、カワウ、バン、イソシギ、コゲラ、ツバメ、アカハラのごぜり、シロハラ、ツグミ、マヒワ、アオジ、クロジ、シメなど（鈴木紀雄）。

表紙の写真

コウノトリ目サギ科ササゴイ属ササゴイ

4羽の幼鳥たちがぐちばしをそろえるのを待っていたら、2日目によく。

徳名貴房(さいたま市)



行事案内



オオヨシキリ幼鳥

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。 持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。 解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

◆節電に伴い鉄道ダイヤに一部変更がありますので、ご注意ください。本誌掲載の時刻は平常時のものです。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月7日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。
交通：JR高崎線北本駅西口「住まいの情報館」前から北里メディカルセンター病院行きバス8:32発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原、浅見、岡安、大坂、内藤、立岩、永野、山野、飛田、吉原（早）、相原（修）、相原（友）、長谷川

見どころ：暑い季節の探鳥会です。厳しい暑さに加えて節電と、疲れも溜まっているかも知れませんが、ぜひ石戸の探鳥会にお出かけください。熱気にあふれ、決して涼しくはありませんが、こんな時に限って思わぬ鳥が出るものです。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月14日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:51 発に乗車。

担当：中里、森本、倉崎、高橋（ふ）、藤田（裕）、栗原、飛田、新井（巖）、千島、鶉飼

見どころ：今年も日本一暑い熊谷となるの

でしょうか。でも河原では、渡って行くシギやチドリを楽しめる季節になります。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月20日（土）

集合：午前9時30分、JR武蔵野線南船橋駅改札口付近。

交通：JR武蔵野線武蔵浦和 8:28→南浦和 8:31→南船橋 9:20 着。

担当：杉本、手塚、長谷部、伊藤（芳）、菱沼（一）、大塚、野村（修）、和田

見どころ：夏は干潟の鳥のシーズンです。

2年連続で不調でしたが、今年はどうでしょうか。天候が荒れると珍鳥が期待できるのですが…。暑さと紫外線対策をお忘れなく。

『しらこぼと』袋づめの会

日時：8月20日（土）午後3時～4時頃

会場：会事務局 108 号室

案内：暑さ真っ盛りの上に節電と来たら、それだけで暑さ倍増の雰囲気。袋づめご苦労様です。今月もよろしく。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月21日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、青木、倉林、渡辺、若林、小菅、赤堀、新部、増田、宇野澤、須崎、船木、畠山、柴野

見どころ：夏休みも後半。鳥が少ない季節ですが毎年みなさん集まってくださいます。珍しい鳥は出現しないけれど楽しいのだと。毎月ほぼ同じコースを探鳥しますが、季節を映して、風景や草花、風の匂いも変化し、鳥たちも少しずつ入れ替わります。その微妙な変化を楽しむ人が足を運んでくださるのでしょうか。

リーダー研修会(要予約)

期日：9月4日(日)

例年の通り研修会を行います。詳細は9月号でご案内いたします。

長野県・白樺峠、乗鞍(畳平)探鳥会(要予約)

期日：9月18日(日)～19日(月・祝)

集合：18日午前8時45分、JR長野新幹線上田駅改札口付近。

交通：長野新幹線「あさま503号」(大宮7:18→熊谷7:31→高崎7:50→上田8:31着)、または「あさま505号」(大宮7:48→上田8:36着)。集合後現地まで往復とも貸切りバスを利用。

解散：上田駅にて19日午後6時30分頃の予定。

費用：21,000円(一泊3食宿泊料、現地バス代、保険料など)。過不足の場合は当日精算。集合地までの交通費は各自負担。

定員：20名(埼玉会員優先、応募多数の場合は抽選)。最少催行人数16名。

申し込み：往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、入山博

……まで。8月1日消印以降から有効受付とします。

担当：入山、玉井、藤澤、星

見どころ：白樺峠で、谷間から湧出のように飛翔するサンバやハチクマなどタカ類の渡りを2日間たっぶり見る予定です。昨年はタカ柱が見られませんでした。今年はリベンジに燃えています。天候次

第では乗鞍(畳平)でライチョウなどの高山の鳥を見ます。2日目が雨天の場合、戸隠森林植物園を予定しています。

宿泊：男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

野鳥記録委員会、少し前の情報

●レンカク

本誌2010年9月号「野鳥記録委員会の最新情報」で、同年7月3日さいたま市内で写真撮影されたレンカクを、2003年7月20日さいたま市の記録に次ぐ2例目と報告しました。それに対し、2008年10月28日川越市伊佐沼でもレンカク1羽が写真撮影され、翌29日朝日新聞朝刊埼玉県版で報道されたと、記事中の写真を撮影した写真をお送りいただきました。

その複写写真からも、レンカク第1回冬羽と同定できます。日付順に整理し直すと、1例目2003年7月20日さいたま市、2例目2008年10月28日川越市、3例目2010年7月3日さいたま市となります。

●メジログモ

『山階鳥学誌、38:60-64, 2006』に、「埼玉県におけるメジログモの古い記録」として、渡辺朝一・北沢秀機両氏の報告が載せられていると、情報が寄せられました。

示された該当ページのコピーの写真からの同定はできませんが、報告内容は詳細的確であり、1981年11月29日から1982年1月9日までの間に、さいたま市(当時は浦和市)と志木市境の荒川で、埼玉大学野鳥研究会会員約10名により断続観察され、一時はアカハジロ♀として同会報に発表された個体が、メジログモ♀であったと納得するのに、十分なものでした。

メジログモは本誌2000年7月第195号に、同年4月30日戸田市彩湖で撮影された個体を県内初の記録として発表しています。これも日付順に整理し直すと、1981年11月29日さいたま市/志木市が1例目、2000年4月30日戸田市が2例目となります。



行事報告

2月27日(日) 東松山市 物見山

参加: 46名 天気: 快晴

オシドリ、オオタカ、ハイタカ、ノスリ、コジュケイ、キジバト、アオゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、ベニマシコ、ウソ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス(32種)(番外:ガビチョウ)歩き出してすぐに幸先良くルリビタキ♀が出てくれたが、後が続かず、東屋でようやくヤマガラ。林から谷津田に出ると、ベニマシコ♀。しかし全員は見られない。溜池にオシドリ♂♀がいたが、飛ばれてしまい一部の人しか見られない。オオタカが鳴いていたが姿を見せない。岩殿観音でルリビタキ♀、上空でカラスがノスリにモビング、オオタカが帆翔してくれた。物見山山頂に登ると林の中からハイタカが飛び出した。鳥合わせの前に綺麗なアカウソ♂2♀1が桜の木に飛んで来て全員が堪能した。最後に盛り上げてくれたアカウソに感謝。

(千島康幸)

2月27日(日) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 39名 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ ハイタカ ハヤブサ チョウゲンボウ イソシギ キジバト カワセミ アリスイ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ マヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(39種)(番外:コブハクチョウ、ドバト)受付時に集合場所近くの鉄塔の高いところに止まったハヤブサがお出迎え。しばらくすると同じ鉄塔にチョウゲンボウも止まってきて、両者の識別で盛り上がる。村国池の先の林では2羽の

ヤマガラがドラミングのような音をたてながら餌を枝の上で突いていた。テストコースを戻る途中ではアリスイが何回も比較的近くの見やすいところに出てきてくれて、全員がその姿をじっくり観察できた。上空にはハイタカが数回飛び、参加者39人で39種と1人当たり1種に。担当者として久々に手応えのある探鳥会になった。(長野誠治)

3月6日(日) 寄居町 玉淀河原

参加: 46名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ トビ オオタカ ハイタカ チョウゲンボウ コジュケイ イカルチドリ クサシギ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(42種)(番外:ガビチョウ、ドバト)コハクチョウ、オオタカ、ハイタカなどを観察するが、何か物足りない感じがする。「ヤマセミは出ないの?」と久しぶりの参加者からの声。探鳥会だから、できればその場所ならではの野鳥を探したいと思う気持ちはわかるが、「もう8年以上観察できないんです」と説明した。そして、終わってみれば、山と積もって42種の観察だった。(小池一男)

3月6日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 51名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ ハイタカ チョウゲンボウ クイナ バン オオバン キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(42種)快晴無風4月のような暖かさの中で開始した。上沼では警戒心の強いクイナが対岸に姿を見せてくれて注目を浴びた。オオジュリン等を間近で楽しみながら進むと、遮蔽のない田んぼの畦にホシゴイ(ゴイサ

ギ幼鳥)が立っていた。蛍の里でカワセミを見ているとジョウビタキが飛んで、追いかけるとアカゲラが視野に入った。見ているうちに、クイナが出たとの声。うれしい忙しさと盛り上がり、充実した探鳥会になった。(玉井正晴)

3月12日(土) さいたま市 三室地区
大震災のため中止。(楠見邦博)

3月12日(土) 坂戸市 高麗川
大震災のため中止。(山口芳邦)

3月13日(日) 熊谷市 大麻生
大震災のため中止。(大澤 祐)

(参考: 3月13日に観察された鳥) カイツブリ
カワウ ダイサギ カルガモ トビ オオタカ
ノスリ バン キジバト カワセミ コゲラ ヒ
バリ セグロセキレイ ビンズイ タヒバリ ヒ
ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス
ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオ
ジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ
スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハ
シブトガラス (34種) (番外: ガビチョウ)

3月13日(日) 加須市 加須はなさき公園
大震災のため中止。(長嶋宏之)

3月13日(日) さいたま市 見沼自然公園
大震災のため中止。(浅見 徹)

(参考: 3月6日の下見で観察された鳥) カイツ
ブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ
マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガ
ガモ キジ バン オオバン キジバト カワセ
ミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒ
ヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ
ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カ
シラダカ カワラヒワ マヒワ シメ スズメ
ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (38種) (番外: ドバト)

3月19日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
ボランティア: 10名

相原修一、相原友江、海老原教子、海老原美夫、
大坂幸男、倉林宗太郎、佐久間博文、志村佐治、
新部泰治、藤掛保司

3月19日(土) 神奈川県 城ヶ島
大震災のため中止。(小林みどり)

3月20日(日) さいたま市 三室地区
大震災のため中止。(楠見邦博)

3月20日(日) 松伏町 松伏記念公園
大震災のため中止。(田邊八州雄)

3月21日(月、休) 長瀬町 宝登山
大震災のため中止。(井上幹男)

3月26日(土) 栃木県 日光東照宮裏山
大震災のため中止。(玉井正晴)

3月27日(日) 行田市 さきたま古墳公園
大震災のため中止。(内藤義雄)

3月27日(日) 狭山市 入間川
大震災のため中止。(長谷部謙二)

4月2日(土) 加須市 渡良瀬遊水地
大震災のため中止。(内田孝男)

4月3日(日) 北本市 石戸宿
大震災のため中止。(吉原俊雄)

4月3日(日) さいたま市 民家園周辺
大震災のため中止。(伊藤芳晴)

4月9日(土) さいたま市 秋ヶ瀬公園自然観察会
大震災のため中止。(小荷田行男)

4月10日(日) 熊谷市 大麻生
大震災のため中止。(中里裕一)

4月10日(日) 所沢市 狭山湖
大震災のため中止。(石光 章)

4月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
ボランティア: 11名

海老原教子、大坂幸男、佐久間博文、柴野耕一
郎、志村佐治、武井眺嗣、藤掛保司、増尾隆、松
村禎夫、吉原早苗、吉原俊雄



●関東ブロック団体からの連絡

【日本野鳥の会神奈川】 4月30日変更。
住所：〒221-0052 横浜市神奈川区栄町2-8 横浜藤ビル6階 から「同所横浜藤ビル2階」へ。電話 045-453-3301、FAX 045-453-4301 は変更なし。

【日本野鳥の会群馬】 5月23日変更。
代表副代表の交代
新代表：田澤一郎
新副代表：浅川千佳夫・松本文勝

●大震災野鳥の会義援金と各支部の状況

本部会員室発行の支部ネット通信6月号によれば、野鳥の会義援金は6月6日までに2,278,326円集まりました。7月からお届けする事務に入りたいとのこと。

同通信で報告された各支部の状況です。

【福島県相双支部】 会員は無事。支部のエリアから人がいなくなり、活動再開は難しい。

【南相馬】 会員に大きな被災はないが、原発の問題が片付くまでは、支部活動のめどがつかない。

【いわき支部】 沿岸部は壊滅状態だが、会員の人命に影響があったとの話はない。探鳥地に被害があり、8月まで探鳥会は行わない。

【ふくしま】 甚大な被害の報告は今のところ届いていない。原発の影響もあるが、情報に振り回されることなく、極力通常通りの活動を続けていきたい。

【二本松】 会員に大きな被災はない。探鳥会もほぼ通常通り継続している。

【こおりやま】 3名の方の支部報が戻って

きているので、原発の影響で避難されているか。7月から探鳥会を再開したい。

【白河】 会員の人命に影響ない。探鳥会も4月からほぼ通常通り。6月12日復興イベント「がんばろうふくしま in にしごう」に協力してほしい。

【会津】【奥会津連合】 被害は大きくなく、会員は無事。通常通りの状態。

●会員数は

7月1日現在1,984人。

活動と予定

6月11日(土) 7月号校正(大坂幸男・小林みどり・佐久間博文・志村佐治・長嶋宏之・山部直喜)。13日(月)同(海老原美夫)。

6月19日(日) 役員会(司会：楠見邦博、各部の報告・9~12月行事予定・総会最終準備・その他)。

6月20日(月)「埼玉会報だけの会員」に向け7月号を発送(倉林宗太郎)。

●8月の予定

8月6日(土) 編集部・普及部・研究部会。

8月13日(土) 9月号校正(午後4時から)。

8月20日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

8月21日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

公園での朝のラジオ体操に参加するなか、季節の移り変わりにつれて、イカルの美声、ツミの巣作り、カッコウ、ピクィーとサンバの鳴き声などを楽しんでいる。早起きは三文の徳か。(内藤)

6月12日(日)帰国。ペルーアンデス標高4,000mに生きるトキヤケリの仲間に感嘆し、標高3,600mクスコの少年たちの民族衣装と笑顔に魅せられた旅でした。(海)

しらこぼと 2011年8月号(第328号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 日本野鳥の会 会員室 TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社